

千葉陸協だより



発行：千葉陸上競技協会総務委員会広報部 2018年2月1日発行

第11号

千葉陸上競技会の歩み

副会長 長谷川 良介

本協会に所属されている皆様方には、平素より協会の運営発展に多大なる御尽力をいただき誠にありがとうございます。本協会も2014年（平成26年）に一般財団法人千葉陸上競技協会として再出発し、今年で3年が経ちます。本年度の役員改選により、宇野裕会長、木内俊秀専務理事の下、新体制がスタートしました。この度退任された役員の皆様、これまでの並々ならぬ御苦労に対し、深く感謝申し上げます。また、同じく退任されました藤原生通前副会長におかれましては、昭和39年に千葉県立国府台高等学校に着任され、以後本県陸上競技の普及強化、競技力向上に多大なる御尽力をいただきました。特に、第21回全国高等学校陸上競技対抗選手権大会（広島県）では、参加生徒5名で全国制覇を成し遂げ、陸上王国千葉の礎を築くこととなりました。



さて今回の巻頭では、歴史ある本県陸協史に触れてみたいと思います。

日本陸連70年史・加盟団体・千葉陸上競技協会小史によると、運動会程度の大会は明治時代より学校単位、あるいは地域的に行われていました。陸上競技大会に近いものとしては、大正3年12月10日に印旛郡青年団主催により佐倉市にある練兵場に400mトラックを急造し、トラック・フィールドにわたる地区対抗大会を、金栗四三氏を審判長に招いて行ったものが最初とされています。同7年と12年には、県下の陸上競技愛好者を集めて安房中（館山市）で合宿講習会が行われました。講師に野口源三郎氏、金栗四三氏ら有名人を揃えたため県外からも多くの受講者があったと伝えられており、受講者を核とする陸上競技の普及が進み、県下にも根を張っていくことになりました。

その後大正11年のインターミドル（駒場）では、朝比奈信行選手（成東中）が100mにおいて11秒3の好記録で優勝しました。同15年には、成田で成年と中学の区別をしない北総陸上競技大会が開かれ、これが県内での選手権形式の初めての大会とされています。昭和2年には、成田で関東陸上競技大会が初の県を越えた大会としてとして、一般・中学のべ2000人の参加の下実施されました。同3年には、牛久小学校（市原市）で、千葉県陸上競技大会（市原郡市体育同好会主催）が学生と青年、中学の区別なく実施され、これが県選手権の起源とも言えると思います。同7年8月11日の全国中学校大会（南甲子園運動場）では、砲丸投で青木半治選手（銚子商）が13m79で優勝しています。青木半治氏は後年、日本陸上競技連盟会長を長くお務めになられました。同年、千葉青年陸上競技連盟が創立され、県選手権大会、県下中等学校選手権大会、県下女子及び学童競技大会など主催（昭和9年度まで）しており、現在の千葉陸協の前々身（ルーツ）とも言えると思います。

そして昭和10年2月11日（紀元節）には、県下で初めての断郊競走（クロスカントリー）大会として千葉県断郊競走大会が栄町安食小付近で実施されています。同年10月6日には、第1回千葉県選手権大会が前身の千葉陸上競技連盟創立記念大会として、千葉中学校（千葉市）で開催されました。

このように、歴史ある大会が現在も行われていることを知っていただくことは大変意味深いと思います。皆様におかれましては宇野会長の下、この歴史ある陸上王国千葉の継承と発展に御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

大会報告

第32回東日本女子駅伝

11月12日に福島で行われた東日本女子駅伝において、千葉県チームが2時間18分37秒で、見事に2年ぶり9回目の優勝を飾りました。

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1区 加世田梨花 (名城大) | 6区 上田未奈 (城西大) |
| 2区 木村友香 (ユニバーサル) | 7区 藤村華純 (成田高) |
| 3区 石川英沙 (成田高) | 8区 南日向 (葛飾中) |
| 4区 杉山明沙 (鎌ヶ谷二中) | 9区 関谷夏希 (大東文化大) |
| 5区 風間歩佳 (成田高) | 監督 滝田輝行 |



第72回 国民体育大会

10月6日～10日に愛媛県で、第72回国民体育大会が開催されました。今年の愛媛国体では昨年以上の天皇杯5位、皇后杯4位という結果を残すことができました。しかし、得点を比較すると昨年の100.5点より少ない99点であり目標であった点数には届かず、満足とは言い難い結果でした。

内訳を見てみると参加点10点、男子が37点、女子が52点を獲得しました。エントリー数は男子17名、女子12名と女子の方が少数でしたが、今大会の傾向としては女子が取りこぼしも少なく、その頑張りが目立ちました。

エントリー数だけを見ると、本県の課題であった女子の強化が改善されているとは言い難いのですが、選手個々の競技力の向上が今回の成績に反映されていることがわかります。男子では、ランキングでは上位にランクされているものの、その力を入賞につなげることが出来なかった選手が多くおり、ランキング通りに結果を残すことの難しさと同時に、競技力を順位につなげることの重要性を痛感させられることとなりました。

しかし、一方では下位入賞が期待される選手をより上位へ導くということに成功しています。それは全てのコーチが、代表の可能性がある選手に対して競技力の観察と分析を選考会ごとに継続的に行い、本大会へのコーチングにつなげた成果だと考えます。このことは、強化は一時的なものでなく年間を通して或いは数年間にわたる継続的な指導がより有効である証明であり、選手も県の代表であることを強く意識して、複数年にわたる代表となるようさらに取り組んでくれることを期待したいものです。また、コーチの方々のコーチング技術の高さやより細かい観察と適切なアドバイスを目の当たりにするにつけ、来年はより高い結果を目標にすることが出来ると確信しました。

今大会に向け各方面からの多くの応援と協力を頂いたことに、心から感謝しています。ありがとうございました。

強化委員長 伊東 謙二

【栄章贈与者の紹介】

〔平成28年度 日本陸上競技連盟 栄章〕

秩父宮章 山本 達雄
(元千葉県陸上競技協会参与)

高校優秀指導者章 香取 憲吾
(千葉県立小見川高等学校)

中学優秀指導者章 白土 幸子
(船橋市立旭中学校)

高校優秀選手章 秦野 南美
東海大付属市原望洋高等学校

中学優秀選手章 風間 歩佳
船橋市立旭中学校

●千葉県体育協会 栄章

感謝状 大岩 哲夫
(前千葉県陸上競技協会会長)

創立70周年記念功労者
(故)野村 和
(千葉県陸上競技協会名誉会長)

藤原 生通
(前千葉県陸上競技協会副会長)

国民体育大会功労者

岩本 一雄
(千葉県陸上競技協会副会長)

秋葉 麻帆
(千葉県陸上競技協会理事)

千葉県体育協会功労者

鈴木 小枝子
(千葉県陸上競技協会競技運営委員)

〔千葉県陸上競技協会 栄章〕

平成29年度功労章

伊東 謙二
(千葉県陸上競技協会強化委員長)

中基 友明
(千葉県陸上競技協会理事)

森 充
(千葉県陸上競技協会審判員)

平成28年度勲功章

潰滝 大記 富士通
高橋 英輝 富士通

木村 友香 ユニバーサルエンターテイメント
本間 諒太 成田高等学校

高橋 竜輝 東京学館船橋高等学校
青柳 柁希 成田高等学校

畦地 将史 千葉県立東葛飾高等学校
秦野 南美 東海大付属市原望洋高等学校

村上 夏美 成田高等学校
青沼 徳大 松戸市立河原塚中学校

平成28年度千葉県最高記録章

森 智香子 積水化学
女子3000mSC 9'45"27

船橋市立船橋高等学校

女子4×400mR 3'41"49

比嘉和希 藤井彩乃 河野百花
泉對愛莉

平成28年度千葉県高校記録章

野口 雄大 柏市立柏高等学校

男子1500m 3'36"04

山本 令央 木更津総合高等学校

男子ハンマー投 64m40

秦野 南美 東海大付属市原望洋
高等学校 400m 54"21

加世田 梨花 成田高等学校

女子3000m 9'05"64

船橋市立船橋高等学校

女子4×100mR 46"08

大平沙由里 泉對愛莉

後藤さわ 藤井彩乃

〔関東陸上競技協会感謝状〕

佐藤 康弘 (陸桜会千葉)

伊藤 定義 (市原市陸上競技協会)

村山 幸裕 (君津市陸上競技協会)

〔安藤百福記念賞〕

井上 将憲

(クレンサアスリートクラブ)

おしらせ



千葉県PRマスコットキャラクター チーパくん
千葉県評定第A287-12号

この人に
聞く

千葉のアスリート紹介

第11回 橋本 梨沙さん

やっと掴んだ全国優勝

こんにちは。幕張総合高校の橋本梨沙です。

私は、この度、「2017 はばたけ世界へ 南東北総体」に出場し、優勝という最高の成績を残すことができました。6月に行われたインターハイへの前哨戦である関東高等学校陸上競技大会南関東地区予選会では、もう一步のところで優勝を逃し、2位に終わりました。本番であるインターハイまでも何度となくプレッシャーに押しつぶされそうになりました。苦しい場面もたくさんありました。しかし、これまで指導して下さった先生の教えを信じ、仲間の応援を受けて一本一本の跳躍に思いを込めて戦った結果、初優勝を勝ち取ることが出来ました。1本目の試技でファールをしてしまった時は、一瞬頭の中が真っ白になりかけましたが、2本目で、これまでの様々な思いすべてを跳躍に込めることができました。また、今回のインターハイでは4×400メートルリレーでも7位に入賞し、同級生の仲間、全員で喜びを分かち合うことが出来ました。順調であるようにも思える高校生活ですが、高校3年間のわたしの競技生活は決して順風満帆ではありませんでした。なかなか記録が伸びず、かつて勝っていた選手にもどんどん負け、何度となく心が折れかけました。そんな時に、私の悩みを親身になってきてくれたり、時には一緒に涙を流してくれた仲間が何よりも私の支えとなりました。2020年には年東京でオリンピック・パラリンピックが開催され、日本のスポーツ界が盛り上がる中、今大会の優勝をステップとして、更なる高み、更なる大舞台を目指し、これからも努力していきたいと思えます。



プロフィール

橋本 梨沙 (習志野第三中→幕張総合高)
南東北インターハイ 優勝 12m73



記録室 国際大会入賞者・国内大会優勝者



全国高校総体 (H29.7.29-8.2 山形)

男子 やり投 畦地将史 68m73 ① 東葛飾
女子 三段跳 橋本梨沙 12m73 ① 幕張総合

全国小学生陸上競技交流会 (H29.8.18-19 神奈川)

男子 80mH 伊橋璃矩 12.02 ① imaKids 蓮沼小

全日本中学校選手権 (H29.8.20-21 熊本)

男子 100m 藤原寛人 10.93 ① 東海大浦安
女子 200m ハッサンナワール 25.18 ① 松戸第五
女子 走幅跳 白土茶実 5m87 ① 八日市場第二

全国高等専門学校体育大会 (H29.8.26-27 長野)

男子 3000mSC 小又寛也 9:29.38 ① 木更津高専

国民体育大会 (H29.10.6-10 愛媛)

成年女子棒高跳 根本智子 4m10 ① 新日鐵住金君津
少年男子やり投 山口智弘 64m54 ① 東海大浦安高校
少年女子400mH 村上なつみ 58"79 ① 成田高校

U18日本陸上競技選手権大会 (H29.10.20-22 愛媛)

男子 4×400mR 東海大浦安高校 40.84 ①
村瀬大輔 天岳直樹 加地勇樹 秀島 来

ジュニアオリンピック (H29.10.27-29 神奈川)

B女子 1500m 南日向 4:27.57 ① 船橋葛飾
C女子 100m ハッサンナワール 12.23 ① 松戸第五

部活動紹介

「佐倉市立井野中学校」

佐倉市立井野中学校は創立 36 年を迎える、全校生徒約 400 名の学校です。陸上部競技部には男女計 57 名の部員が在籍し日々の練習に取り組んでいます。今年度は千葉県総合体育大会陸上競技の部において、男子総合優勝ならびに男女総合優勝を獲得することができました。また男子リレーは県通信大会において大会新記録で初優勝を飾り、全国大会へとコマを進め、個人種目も合わせて計 5 種目総勢 6 名の選手が全国大会への出場権を獲得しました。3 年間、目標としてきたリレーでの全国大会を果たすことができたのは、自分自身を最後まで信じてきた選手たちと、その夢を支えてくれた仲間や家族のおかげであったと思います。

日頃の練習においては、競技力向上のほかに「部活動を通じた成長」を大きな目標とし、社会に出たときに周囲から必要とされる存在になることを目指して活動しています。礼儀やマナーが身についているだけでなく、困難に立ち向かう心の強さ、新しい方法を自分で考えていく創造力、多様な個性を持つ集団の中で調和を図るコミュニケーション力を伸ばしていくことも部活動を通じて身につけさせていきたいと考えています。

3 年生の多くは引退し、チームは新体制に移りました。来年度の県通信、県総体に向けて個々の選手のレベルアップはもちろん、チーム力の向上を目指し例年以上にハードな冬季練習を迎えようとしています。偉大な先輩たちに負けないよう、それぞれの飛躍を目指して頑張っていきたいと思います。



「西武台千葉高等学校」

西武台千葉高等学校陸上競技部は、学校創立と同時に創部され、32 年目を迎えます。

男女陸上部 90 名が「全力」の部訓のもと、日々練習に取り組んでおります。創部当初は部員確保も難しく、チームの体制を作るのに苦労しましたが、近隣中学校の先生方や地域住民のご理解、ご尽力によって着実に力をつけ、平成 26 年度には千葉県高校総体で男子総合優勝を果たすことができました。全国高校総体出場も 27 回を数え、男子 4 × 400 m R、400 m H において第 2 位、国民体育大会では 400 m で優勝を果たすことができました。また男子駅伝では関東高校駅伝に 9 回出場し、2 回 8 位入賞を果たし、卒業生も、延べ 11 名が箱根路を駆け抜けました。練習環境は、学校内に 3 レーンの直線 150 m オールウェザー走路が整備され、また近隣の野田市総合運動公園陸上競技場をお借りして日々全力で取り組んでおります。部活動は学校教育の一環であると考え、人間教育・人格形成に重きを置いて指導してまいります。



※部活動紹介コーナーに登場してくれる部活動を募集しています。我こそはと思う部活動の方は千葉陸協までご連絡ください。

発行 一般財団法人 千葉陸上競技協会

〒 263-0011 千葉市稲毛区天台町 323
千葉県総合スポーツセンター内
ちばアクアラインマラソン実行委員会事務局分室
TEL : 043-252-7311 FAX : 043-252-7314
<http://www.jaaf-chiba.jp/>